



小郡市立小郡中学校 令和5年10月2日

小郡中学校だより 第192号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

### 合唱コンクールを成功させよう!…なぜ合唱に取り組むのか

毎年伝えています。  
合唱活動をぜひ振り返って  
みてください!

今、教室からたくさんの歌声が流れてきます。各クラスで合唱コンクールに向けての練習が進んでいることでしょう。本年度の文化発表会スローガンは、『継唱』。その設定理由の中には、『自分自身を見つめ直し、全員が伝えやすい雰囲気や姿勢をつくっていき、学年・学級の課題や自分自身の課題を解決するために行動していく』ことをめざしていきたくとあります。



そこで、今号では何のために合唱コンクールに取り組むのかを考えたいと思います。私は、3つの理由があると思っています。

ひとつは、人ととの調和・協力を学ぶため。小学生の小さな子どもは、大きな声で自由奔放で好きなように歌います。人と比べて自分の声はどうか、大きすぎないか、調和しているかといったことはあまり考えません。けれど、思春期に入った中学生は、自分は人からどう見られているだろう、人から見て自分はどんな人間だろうと考えます。それは、歌うときも同じで、仲間の中で自分の声はうまく響いているか、美しく調和しているかを意識します。集団の一員としての自分を見つめるようになる中学生にとって、クラス全員で美しいハーモニーをつくりあげる合唱は、最高の教材になるのです。

ただ、そうは言っても「私はどうしても歌うことが好きになれない」という人も中にはいるでしょう。そんな人はあまり声を出さなかったりと練習がうまく進まず、文化委員やリーダーを困らせているのかもしれない。でも、考えてみてください。これからの人生の中でも、好きでなくてもやらなければならないことはたくさんあります。そのとき、どうせするなら潔く気持ちを切り替えて、前向きに取り組むことが大切です。「苦手だな」という気持ちを封印して練習に取り組む経験は、この先、困難を乗り越える大きな支えになってくれるはずです。これが取り組む理由のふたつめです。

最後のみっつめ。歌った経験はいつまでも体に残り、将来、ふっとその曲を口ずさむことがあるでしょう。練習を重ねて、あなたの体の中にいつまでも忘れられない記憶として刻み込まれます。それが心の豊かさにつながり、生涯の宝物になるのです。

合唱コンクールは、一人一人が自分の役目を果たすことによって、全体への貢献と個人の充実感を高めることができる価値ある行事だと言えます。学級が一丸となって、体育館中へ歌声が響き渡る合唱コンクールを楽しみにしています。

### うきは市、小郡市・三井郡中学校新人大会【ブロック新人大会】健闘しました

9月30日(土)にブロック新人大会が開催され、絶好のスポーツ日和の中、すべての競技が予定通りに実施されました。どの部も全力を尽くし、各会場で熱戦を繰り広げてくれ、最後まであきらめない姿勢で試合に臨む姿からは、たくましさを感じ、うれしく思いました。

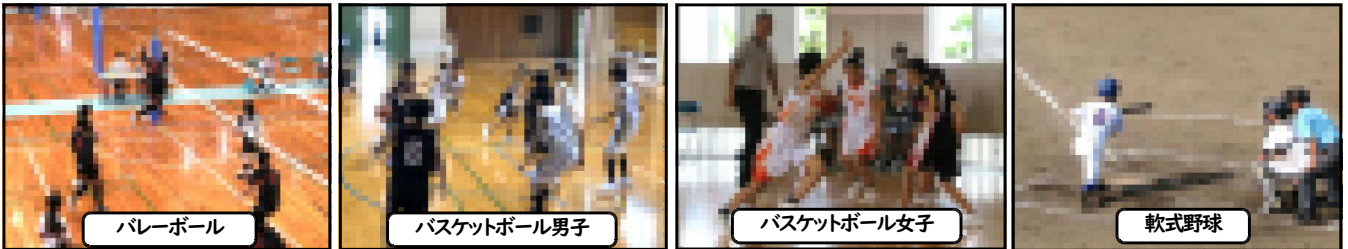
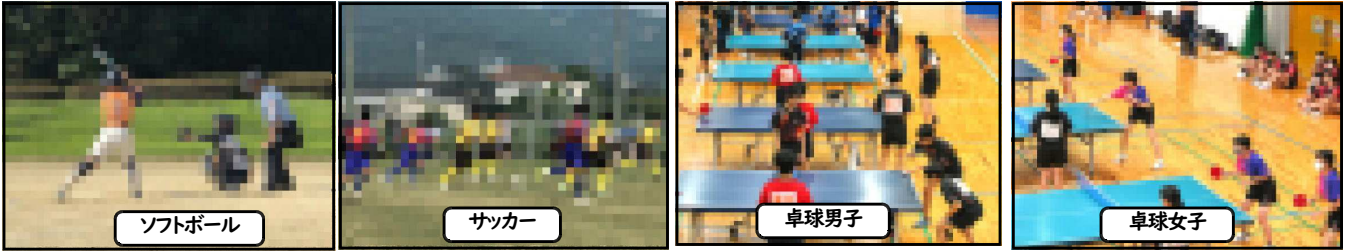
この新人戦で、冷静に自分やチームの力を振り返ることができたでしょうか。自分やチームの弱いところ、課題は何か、今後どこを鍛えていけばいいのか、逆によさ、強みに何か、

どこを伸ばせばよいのかを丁寧に整理してほしいと思っています。課題と目標がハッキリすれば、意識が変わります。意識が変われば、きつい練習も苦にならなくなり、漫然と過ごしていた部活動の時間が貴重な一日一日に変わるはず。10か月後の夏の大会でうれし涙を流すために、試合後に感じた気持ちを忘れずに一步一步日々努力を続けてほしいと思います。みなさんのさらなる成長を期待しています。

保護者のみなさま、応援ありがとうございました。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

部活動名	本校の成績	部活動名	本校の成績
ソフトテニス男	3位	バレーボール男	優勝(地区へ)
ソフトテニス女	7位	バレーボール女	優勝(地区へ)
サッカー	惜敗	卓球男	優勝(地区へ)
ソフトボール	準優勝(地区へ)	卓球女	準優勝
バスケットボール男	準優勝	剣道	惜敗
バスケットボール女	惜敗	軟式野球	準優勝

※ソフトボール及びバレーボール男は大原中との合同チームで地区大会に出場



筑後地区中学校新人大会	
卓球男子	11月18日(土)
ソフトボール	11月3日(金)
バレーボール男	
バレーボール女	

健闘を祈っています

## 〈2学期の中間テスト迫る!〉 集中して勉強するコツとは…

10月10日(火)から2学期の中間テストが始まりますね。そのテスト前には3連休もあり、時間を有効に使い、集中して勉強してほしいと思っています。実は集中して勉強するやり方にはコツがあります。今回はそのコツを教えましょう。



ある大学の先生が、勉強する時間をどのようにつくると、はかどって勉強ができるようになるかという実験を行いました。まず、事前にテストを行い、学力が均等になるようにグループ分けをしました。Aのグループは60分間続けて勉強します。Bのグループは、休憩2回(1回7.5分)を挟んで15分の勉強を3回行いました。さて、この2つのグループ、勉強の定着度が高かったのはどちらだと思いますか。実は、休憩を挟んで15分勉強を3回やったBグループの人たちの方が、勉強の合計時間45分と短いのに定着度は高かったそうです。休憩を挟みながら15分という短い時間集中するやり方は「短時間積み上げ型学習」といいます。長時間続けて勉強するより、短時間積み上げ型学習の方が学習内容が身につく、集中力が続くことがわかったのです。こまめに休憩時間をとると、集中力に関する「ガンマ波パワー」が回復するからなのだそうです。休憩時間の過ごし方も大事で、目を閉じて何も考えない時間をつくらせたり、背伸びしてストレッチをしたりするのがいいそうです。ぜひ参考にしてみてください。



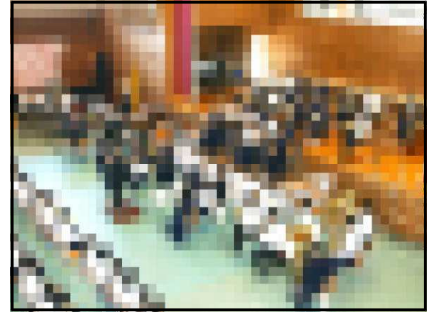
学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

### スローガンを意識したすばらしい文化発表会でした

本年度文化発表会スローガン



10月19日(木)に本校体育館を中心に第44回文化発表会を開催しました。ステージの部も展示の部もみなさんのがんばりと協力があり、全員がスローガンを意識したすばらしい文化発表会となりました。



【吹奏楽部の演奏】

開会式後、吹奏楽部の演奏で幕を開けてくれました。九州吹奏楽コンクール出場というすばらしい結果を残した吹奏楽部の発表でしたが、夏から更に一段と完成度が上がっていて、私たち観衆の心に響く圧巻の演奏でした。

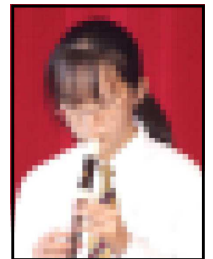
リコーダー創作発表では、音楽創作コンクールで入賞した作品を4人の生徒のみなさん(右表)が演奏しました。題名通りの情景が思い浮かぶ作品で、いずれも入賞にふさわしい独創性のあるメロディーラインを披露してくれました。

リコーダー創作発表者	
〈筑後地区中学校音楽創作コンクール銀賞〉	
〈小郡市三井郡中学校音楽創作コンクール入選〉	
1年2組	「春のピクニック」
〈小郡市三井郡中学校音楽創作コンクール佳作〉	
3年2組	「楽しい帰り道」
〈校内音楽創作コンクール入選〉	
2年3組	「Let's go!!」
3年1組	「ミステリー」

また、小郡市英語スピーチ交流大会で入賞した1年生のさんと3年生のさんが英語スピーチ発表をしてくれました。内容を十分に理解し、表情豊かに堂々と発表する姿に生徒のみなさんも感動を覚えたのではないのでしょうか。



【 さん】

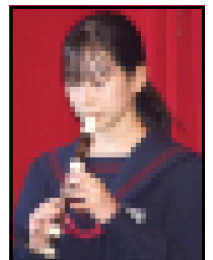


【 さん】

主張の部では、3人の各学年代表による主張でしたが、いずれも主張のテーマが明確で、内容もよく整理され、主張者の思いや考えが伝わる説得力のある主張でした。1年生代表の



【 さん】



【 さん】

さんは『拍手の種』と題し、私たちが日頃気づかないことに目を向けた主張でした。一番最初に拍手した人、すなわち拍手の種を蒔いた人の行動から、人の助けになる種を蒔きたいと思う自分に変わっていったこと、率先して行動することは相手にとって大きな助けになることを力強く伝えてくれました。日々の自分の行動を振り返り、考えさせられるものでした。

2年生代表のさんは『限りある時間』と題し、大好きな祖父の死を通して感じた思い…祖父ともっと話をしてあげればよかった、「今までありがとう」と言えなかった後悔などの心の動揺があること、だからこそ、これからは後悔することがないように限られた時間を大切にしていきたいと、その心情を素直に語ってくれました。今、この一瞬、一瞬に最善を尽くし生きていくことの大事さを確認させてくれた主張でした。



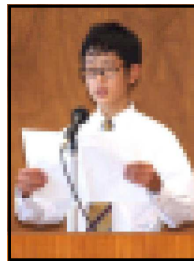
【 さん】



【 さん】

3年生代表のさんは『My life experience』と題し、タガログ語と英語でこ

これまで経験して感じたことやこれからの目標について語ってくれました。慣れない環境の中で、つらい思いをしていた自分に話しかけてくれるなど、日本語や日本の知識がない自分を受け入れてくれたことへの感謝、そして高校受験に向かって一緒にがんばりたいという決意を伝えてくれました。



【さん】

【さん】

【さん】

みなさんは、さんの主張を聴いて、何を感じましたか。私は、自分の経験を通して至った思いを勇気をもって堂々と伝えてくれたことに大きな感動を覚えたと同時に、思いを伝えるとは、自分自身を大切にすることにつながるのではないだろうかと感じた瞬間でもありました。

展示の部は、美術部や家庭部の作品、国語、英語、美術、音楽、技術、家庭科などの教科作品、オレンジ学級の作品が展示されました。どの作品もていねいに仕上げられており、見事な作品、アイデアある作品に目を奪われました。作品から作成した人の思いはもちろん性格までわかった気がします。自分にはないものをたくさん吸収できたでしょうか。ぜひ、学んだことを生かしてほしいと思っています。



【展示見学の様子】

合唱コンクールでは、3年生は、さすが3年生という男声と女声の迫力ある合唱を聴かせてくれましたし、2年生は中堅学年として、その存在感を示す情感あふれる合唱、そして1年生は、初めての合唱コンクールで緊張しつつも、若々しい元気な合唱を聴かせてくれました。

合唱コンクール最優秀賞

3年	3年2組「ヒカリ」
2年	2年4組「輝くために」
1年	1年1組「空は今」

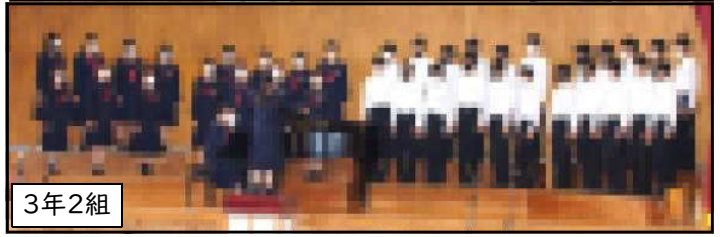
あのすばらしい伴奏や歌声、表現は突然やろうとしてもうまくいくものではありません。普段からの積み重ねがあったからこそです。当日までにいろいろな形で各自が責任を果たしてよく練習してきたからだという事です。その結果、クラスみんなの心がひとつになっていることを一番感じたのは他ならぬみなさん自身ではなかったでしょうか。その意味で、どのクラスの合唱も、クラスの一体感を感じました。最優秀賞のクラスはもちろん、どのクラスも強い絆が窺えるすばらしい合唱でした。特に3年生は最後の合唱コンクール、生涯の宝となるほど最高のものになっていたと思います。



1年1組



2年4組



3年2組

合唱コンクールのみなさんの歌声は、中学時代の友情と団結の証としても、生涯、みなさん一人ひとりの心の中に響きわたり続けると信じます。

みなさんは、この文化発表会で自分や友だちの表現と向き合い、自分はそれをどう捉えどう感じたのか、自分自身との対話を深めることができたでしょうか。文化という知的な営みを追い求め、お互いのよさを再発見し、学び合った一日になったことは確かだと思います。この文化発表会でつないだ思いと絆、そして自分自身の成長を大切にしてこれからの学校生活を送り、生徒のみなさん全員で成熟した学校文化へと育てあげてほしいと願っています。